

韓国語読解発展学習におけるkReadabilityの活用可能性

木下 瞳・林 炫情 (山口県立大学)



1. はじめに

山口県立大学韓国語学習会でのCLIL読解授業において、韓国語文章難易度判別システム「kReadability」(<https://asaokitan.net/kreadability/>)を活用した発展学習の実践例について紹介する。

2. 韓国語CLIL読解授業概要と課題

教科内容と外国語学習を統合し、質の高い外国語教育の実現を目指す「内容言語統合型学習(Content and Language Integrated Learning; CLIL)」の利点として、①学術的な内容を扱いながら、同時に外国語スキルを伸ばすことができること、②文化理解を深めつつ批判的思考力とリサーチスキルを養えること、③学習意欲の高まりによって、学習の達成度をより強く味わえることなどがあげられている(池田, 2011; 林, 2018)。

■韓国語学習会のCLIL読解授業概要

本授業は、韓国語を用いた韓国文化理解のために、韓国語の実践的かつ総合的な表現能力を身につけることを目的としている。学習レベルは、中上級韓国語使用者(TOPIK4~6級程度)を目指しており、韓国語の実践的能力のうち、特に文章の読解力を向上させることを目標とする。現在、週1回の授業、9名の受講者があり、受講者のレベルはTOPIK3~6級程度である。授業は、学習用教材の一つのトピックを2回(1ターム)に分けて実施。

また、授業では学習用テキストのトピックに見合ったオーセンティック素材のタスクを用いて、グループでの討論や調べ学習などを行いながら、学生の能動的学習を促す足場がけをつくらせている。

■授業の流れ

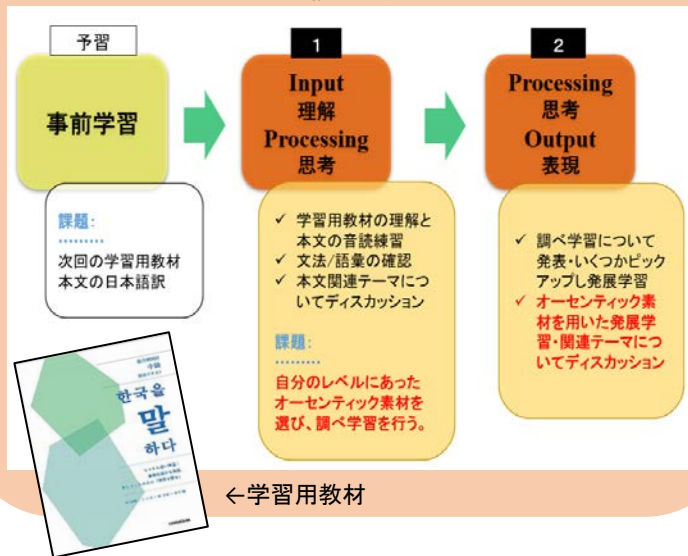


表1 韓国語読解授業における「4つのC」の具体的な取り組み内容と課題

Content (内容)	<ul style="list-style-type: none"> 韓国語で書かれたテキストを用いて韓国社会・文化について学び、自国との違いについて考える。 → より臨場感のある生教材活用 の必要性和学習レベルにあった教材選定の課題
Communication (言語)	<ul style="list-style-type: none"> 新出の韓国語文法・語彙を確認し、理解する。 韓国語で書かれた文章を読み、その内容を読み取る。 トピックのキーワードを確認し、トピックと関連した事例や情報を集め、分析する。 → 自学自習用教材の課題 タスク「話してみよう!」を通して、韓国語を用いた知的活動に必要なアカデミックスキルを習得する。
Culture/Community (文化/コミュニティ)	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動を通じた協同学習を促す。 タスクや課題活動をもとに、具体的に韓国社会・文化についての理解を促す。
Cognition (思考)	<ul style="list-style-type: none"> タスク活動をもとに、比較文化の観点から、韓国と自国の同質性と異質性を認識し、理解する視点を養う。 発展課題を通して、持続的な学習と次の学びへの応用を探る。 → 教員の教材準備の手間や発展学習教材選定の課題

李・林・須賀井・浅尾・斉藤 (2019) 参照

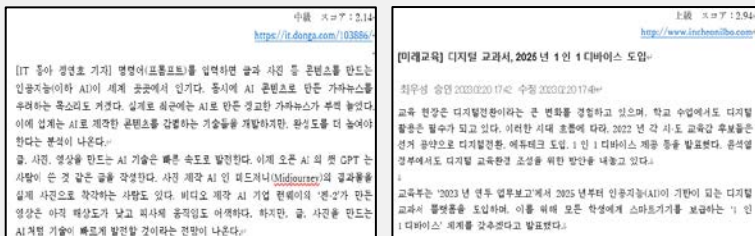
上記の課題を踏まえ、使用教材の選定においては、内容分析だけでなく学習者のレベルを考慮したものである必要があるため、学習者自身が「kReadability」を使って素材を選び、自律的に学習できるよう促している。

3. 授業でのkReadability活用例

■学習者側:自分のレベルにあったオーセンティック素材の選定と調べ学習

- ①自分のレベルにあった素材を選ぶ
- ②単語リストを参考に文章を読みまとめる

学習者が選んできた素材は、「kReadability」スコアを記入し事前に提出させ、その中からいくつかピックアップして次の授業で取りあげる。→学習者の興味関心UP、多様なジャンル・レベルの素材が集まり学びが深まる



◆学生が選定した素材

■教員側:発展学習に用いるオーセンティック教材の選定

- ①発展学習に使用する素材を、学習者のレベルに合わせて選定
- ②単語のリストから重要単語や文法をピックアップし、学習者に配布する資料作成

リーダビリティスコア 2.43
レベル 中級

교내 휴대전화 허용 어디까지?...인권이 본 '3대 원칙'
189 뉴스 2022.03.15 (21:17) <https://news.kbs.co.kr/news/news.do?ncd=5463011>

[영어]
학생들이 학교에 가면 자기 휴대전화를 맡겨놨다가 수업이 다 끝나고 학교 밖 때 돌려줍니다.
물론 이걸 담당해주는 학생들도 많습디다.
그래서 그동안 국가인권위원회도 많은 권장이 들어갔는데, 인권위가 어떻게 결정을 내렸을까요?
이른후 기자가 취재했습니다.

[리포트]
등교와 동시에 맡겨졌다 학교 밖 때 돌려받는 휴대전화.
공부해 걸출할 수 있어 좋다는 의견도 있던 한데.

◆뉴스記事
KBS 뉴스 2022.5.15
<https://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=5463011>

◆「kReadability」測定スコア

リーダビリティスコア	2.43
レベル	中級
選定と終止の差	-0.24
選定の強度	0.71
名詞率	0.31
動詞率	0.45
平均文長	22.00

◆単語リスト

◆関連テーマについてディスカッション

4. 「kReadability」を用いた読解発展授業についての感想と課題点

<学習者の声>

- 自分が読めそうな文かどうかをレベルで判定してくれるので、いつもは読まない記事も読んでみようと思った。自分の韓国語レベルも分かってよい。
- 単語を1こずつ調べなくてすむのがよかった。漢字語表記が分かるのもよい。
- 自分の選んだ文章が授業で取り上げられるのは嬉しい。
- 他の人の関心事が知れて面白い。発展学習は学びが深まってよい。



<教員の感想>

- 学生自身が興味のある素材を持ち寄って学習するため、モチベーションも高く、能動的な学びになってよい。多様な素材が集まるので、内容にもバリエーションが生まれ、それらに関する豊富な語彙を学習できる。
- レベル判定の際に、文章の行間の有無によりスコアが変化してしまうところは改善が必要(行間あり: 上級 2.88 → 行間なし: 中級 2.43)

参考文献

・池田真 (2011) 「CLILの基本原則」渡部良典・池田真・和泉伸一(編)『CLIL上智大学の外国語教育の新たな挑戦 原理と方法』pp.1-13. 上智大学

・林炫情 (2018) 「CLIL(内容言語統合型学習)の教育実践と展望-日中で韓国語学習を例に」山口県立大学国際文化学部(編)『多文化・多言語を生かすために: 地域でみがくコミュニケーション力』, pp. 101-124. 山口県立大学

・李在鎭・林炫情・須賀井義教・浅尾仁彦・斉藤信浩「リーダビリティを活用した読解授業実践(日本語教育から韓国語教育へ)」『第81回朝鮮語教育学会ワークショップ企画・明日から使える授業の小ネタ交換会』京都女子大学, 2019.6